

平成 26 年 8 月 18 日
代表幹事 村川雅人（東京工業大学）

植物脂質研究若手の会

無礼講 2014@静岡大学 開催のお知らせ

この度、植物脂質研究若手の集い『無礼講』を下記の通り開催させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。日々の研究に追われてついつい後回しにしてしまっている“大切なこと”について、若手の研究者同士、気の置けない雰囲気語りあう時間を共につくればと考えています。先生方につきましては、ご多忙の中とは存じますが、身近な学生や若手研究者の方々へのお声がけのほど、よろしくお願い致します。

—記—

1. 日時：2014 年 11 月 29 日（土） 14:00 — 17:00
 2. 対象：学生～ポスドク、心は若手！な研究者の方々
 3. 場所：静岡大学（植物脂質シンポジウム後、皆で移動します）
 4. スケジュール：
 - 14:00～ 第 1 部「90 秒自己研究紹介（参加者全員）」
 - 14:30～ 昼食＋歓談 Time① ～今を語る～
 - 15:00～ 第 2 部 『村田紀夫先生による特別講演』
 - 16:00～ 歓談 Time② ～本来を語る～
 - 17:00 結び ～将来へ向けて～
 5. 参加費：1000 円程度を想定しています（昼食代含む）
 6. 発表資料：パワーポイント 2 枚程度の研究内容紹介をご用意ください
 7. 備考：お問い合わせは担当の村川までご連絡ください
村川雅人（東京工業大学大学院 博士課程 3 年 太田・増田研究室）
tel：045-924-5737 e-mail：murakawa.m.aa[at]m.titech.ac.jp
- 以上

無礼講 2014@静岡大学

講演題目

「一流の研究をしよう、そして一流の研究者になろう」

村田紀夫（基礎生物学研究所）

皆、一流の研究をしたい。一流の研究者になりたい。でも、容易に一流の研究は出来ないし、一流研究者にもなれない。簡単な方法があったら、教えて欲しい。でも、誰も教えてくれない。それは一言で言えるものではないからです。では、一流の研究者は一流でない研究者と何が違うのかを考えることから始めてみましょう。

この設問のもと、いろいろな例を挙げて、話を構成して行くつもりです。例えば、次のような質問をします。答えを考えておいて下さい。

1. 一流の研究とはなんですか？
2. 将来において影響力を持って来る研究を、予測することは出来ますか？
3. 賢い研究方法と鈍重な研究方法と、どちら好きですか？どちらを選びますか？
4. High risk–High return な研究と Low risk–Low return の研究と、どちらをしたいと思いますですか？
5. あなたは自己顕示欲が強いのですか、弱いのですか？（日本社会においては、自己顕示欲が強いと欠陥人間扱いされます。でも、国際社会においては、自己顕示欲の弱い人は人間として扱ってもらえません–無視されてしまいます。）